

平成26年度
研究発表会

中学部

生徒が地域で「できる姿」を
発揮するための状況づくりと支援

～地域で活かす、授業の創造～



平成27年1月30日
中学部 西村京子

テーマ設定の理由

生徒が地域で自ら考え自ら活動するために、
学校での「できる姿」を地域に伝えていく



授業の中でどのような状況をつくり、どのよ
うな支援を行えば、生徒が「できる姿」を発
揮するのか ⇒ 授業改善



授業での状況づくりや支援を地域に伝えて繋
いでいく

今年度の研究

★「活動パッケージ」の作成と活用

★授業づくり

- ・ 拡大ユニット会議

- ・ できます会
 - 居住地域 洛西ユニット
 - 学部ワークスタディ染色
 - ワークスタディ布加工班

★居住地域ユニットの充実と拡大

★交流及び共同学習

★情報移行



「活動パッケージ」って何？

生活マップ + マトリックスシート →

生徒が地域でどのように生活していて、どのような条件のもとで願いが実現しているのか、困っていることはないか？



何があれば生徒が地域で自ら活動できるのか、必要なものは何か？

1つではなく、いくつかある



適切な活動パッケージがあれば、生徒は地域で自ら活動することができるのではないか

N君の「初めて会う人にも落ち着いて挨拶し、 用件を言葉で伝える」ための活動パッケージ

①友達の名前を呼ぶ
（朝の会で）

②文字と発音を一致
させる（朝学習で）

③明瞭な発音をする
（コミュニケーション
ユニットで）

④舌や口の中
を動かして発
声する（ST
との学習で）

⑤居住地で用件を伝
える（洛西ユニット
で）

⑥学校で用件を伝え
る（学校生活全体
で）



- ・舌や口を動かし，一音一音大きな声で丁寧に発音する
- ・明瞭に話せる単語を増やす（3語程度）
- ・小学部のクラスや桂坂児童館で絵本の読み聞かせをする

③明瞭な発音をする
（コミュニケーション
ユニットで）



④舌や口の中
を動かして発
声する（ST
との学習で）

⑤居住地で用件を伝
える（洛西ユニッ
トで）

⑥学校で用件を伝え
る（学校生活全体
で）

ページ

- ・ カードを指さししながら、用件を伝える練習を行う
- ・ 居住地域で用件を伝える場をつくる
- ・ どこに行って何をするのか確認する
- ・ 落ち着いて活動できるように、過剰な盛り上げ方をしない

と発音を一致
(朝学習で)

④舌や口の中
を動かして発
声する (S T
との学習で)

⑤居住地で用件を伝
える (洛西ユニット
で)

⑥学校で用件を伝え
る (学校生活全体
で)

N君

①友達の名前を叫ぶ
(朝の会で)

③明瞭な発音をする
(コミュニケーション
ユニットで)

⑤居住地で用件を伝える
(洛西ユニットで)

⑥学校で用件を伝える
(学校生活全体で)

- ・健康観察カードを届けるとき、他のクラスに物を届けるときなどに「〇〇しに来ました」と伝える練習をする
- ・タブレット端末を借りるとき、返すときに「〇〇〇〇を借りに来ました」「返しに来ました」と伝える練習をする

できますシート②

「初めて会う人にも落ち着いて挨拶をし、
用件を言葉で伝える」

- ・ 居住地域で用件を伝える場を作る
- ・ 事前学習の時に用件を伝える練習をする
- ・ 平仮名で用件を書いたカードを用意する
（なるべく 拗音が入らない文にする）
- ・ どこに行って何をするのかを，事前に確認しておく
- ・ 他の場面でも「〇〇しに来ました」を伝える場面を多くする。
- ・ 10文字以内の用件を相手に伝える

手だて：セッティング（状況づくり）

できますシート②

「初めて会う人にも落ち着いて挨拶をし、
用件を言葉で伝える」

- ・ カードの文字を1字ずつ指差して，本人が発音するのを待つ
- ・ 落ち着いて活動できるように，過剰な盛り上げ方をしない
- ・ 興奮した時には，小さな声でカードの文の一部を読む
- ・ 言えなかったときは音声模倣を促す

手だて：アプローチ（支援）

こんなことができた

- 「何ていうの？」と促されると「トイレどこですか？」と聞くことができた
- 10文字以内の用件「見学にきました」を相手に伝えることができた(言葉は不明瞭)
- 「どんな歌を歌ってほしい？」の質問に「アナ雪」と答えることができた

できたことで、まわりの反応や対応
がどう変わり、子どもにどのように
返ってきたか？

- トイレの場所を教えてもらえた
- 相手にうなずきなどの反応があった
- 「わかりました」という答えが返ってきた

発音が不明瞭で、相手に
伝わったかどうかは分か
りにくかったため、本人
が伝えた用件が伝わった
かどうかを確認してみる

確認したいこと

質問形式で
表記した用件を,
言葉で伝える

新しい「できる」のアイデア

できますシート③

「初めて会う人に伝わるように質問する」

- ・ 事前学習の時に質問形式の用件を伝える練習をする
- ・ 平仮名で用件を書いたカードを用意する
（なるべく拗音が入らない文にする）
- ・ 居住地域で質問をする場を作る
- ・ どこに行って何をするのかを，事前に確認しておく
- ・ 他の場面でも質問する場面を多くする
- ・ 10文字以内の用件を相手に伝える
- ・ 本人の話しやすい文節を探り，文章の中にチェックを入れる

手だて：セッティング（状況づくり）

できますシート③

「初めて会う人に伝わるように質問する」

- ・ カードの文字を 1 字ずつ指差して，本人が発音するのを待つ。
- ・ 落ち着いて活動できるように，過剰な盛り上げ方をしない。
- ・ 興奮した時には，小さな声でカードの文の一部を読む
- ・ 言えなかったときは音声模倣を促す
- ・ 前日から活動を制限し，本人のコンディションを整える（校外に出る場合）

手だて：アプローチ（支援）

こんなことができた

- 店員さんを探すことができた
- 店員に尋ねることができた「ノートどこか？」（練習では・・・どこですか？は言えた）
- 店員に伝わらない時に，再度尋ねることができた
- 店員の後について，ノート売り場まで行けた

できますシート③

できたことで、まわりの反応や対応
がどう変わり、子どもにどのように
返ってきたか？

- 店員に案内してもらい、ノート売り場まで行けた
- 好きなノートを選んで買うことができた

- より確実に伝えるために、メモ帳があれば、それを活用できるか
- S Tの指導を受けて、授業の中で活かすことができないか？

確認したいこと

- ・ 「どこですか？」 「ください」と二つのパターンで書いたメモ帳を場面に応じて使う
- ・ 用件を書いたメモ帳を見ながら言い、伝わらなかったら見せる
- ・ 店員に案内してもらった時に、「ありがとう」を言う

新しい「できる」のアイデア

その後のN君

洛西ユニットで

コミュニケーション
ユニットで

STとの
個別学習で

クラス
スタディで

学部ワークスタディ 染色

「できる」姿を発信し、役割を担ったO君

見えにくいならビデオで撮ってモニターに映そうか？

初代パッキング機でタオルを袋に入れる

容器を紐でぶら下げたら？

ワークスタディ 布加工班

作業が終わると、「できました」と報告するP君

工程表を見て自ら
する

指導者の側まで
行き報告する

今年度の成果と今後の課題 (活動パッケージ)

- 今も将来も地域で生活していくためのツールとして有効だった
- 次年度に申し送り，場面や内容を更新したり，新たなパッケージを付け加えたりしていきたい
- より具体的に作成し，将来の地域での生活を見据えたパッケージとして，活用していく方法を考えたい

今年度の成果と今後の課題（授業づくり）

- 「活動パッケージ」を持ち寄って拡大ユニット会議を開いたことは、一人一人の生徒の地域での生活を知ることには有効だった
- 「できますシート」の活用は、状況づくりや支援を共有することには有効だった
- 「できます会」の開催は、新しい「できる」のアイデアの検討や指導者間での共有には有効だった

今年度の成果と今後の課題（その他）

- 後期から居住地域桂・松尾ユニットを立ち上げた→来年度も「できる姿」を発揮するための場として、充実・拡大させていく
- 居住地校との交流は、希望する生徒全員が実施できた→学校間交流も含め、活動の場や接する人を拡げていく
- 生徒がより多くの場面で「できる姿」を発揮することができるように、情報やアイデアの共有を続けていく→家庭や地域の支援者にも伝え、それを活かしていけるように取り組む